
緋弾のエリア カードで世界を救う

野々宮

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

緋弾のアリア カードで世界を救う

【Nコード】

N9075X

【作者名】

野々宮

【あらすじ】

天使の手違いにより死んでしまった棗 悠太。

代わりに転生者としてアニメの世界に行ける事になった！しかもチート能力もくれるというありがたき幸せ！
これを生かして原作ブレイクしてやるぜ！

プロローグ？（前書き）

この小説は主人公半チート・原作ブレイクしていますので、原作が好きな方や汚されたくない人はお勧めしません。
それでも読みたい方は作者の駄文をご覧ください。

プロローグ？

「あれ・・・俺は何をしてたんだ・・・？」
ふと思いつく。

「えっと・・・朝起きてから朝飯食べて自転車乗って学校に行ってる途中で・・・」そうだ、信号待ちをしていたら事故にあったんだ！

俺はどうなった？痛みすらないという事は軽傷か？病院にでもいるのかな・・・そんな疑問を繰り返していると

「どうでしょうか？かなりまずい状態ですが・・・」
「見た感じでも分かるがやばいだろうな」

ん？事故の話でもしてるのかな？ってことはかなり大きい怪我なのか・・・
そんなことを思っていたが、現実には甘くなかった

『やっぱり死にましたね・・・ご冥福を祈ります』

「は！？俺死んだの！？」
「はい、死にました・・・って、ええっ！?!?!？」

「私がこつちとの干渉を認めた。ありがたく思えよ」
えっと・・・バカなのでまだ理解が出来てません。 どういう状況？

「えっと・・・あの、その・・・ごめんなさいっ!!」

「いや、急に謝れても困るんですが・・・一体どういう状況なんですか？」

「えっと、結論から言うと俺はディアの手違いで運転手だけが死ぬ運命だったのが俺も死んで2人とお話中ってことですよね？」

「そういう事ですね・・・申し訳ございません」

この人の名前はディアさん。ディアさんは金髪ツインテの美人だった。アニメのキャラで言うとりりカルなのは(A、S)のフェイトに近い感じた。

「そういうことだ、うちの者が迷惑をかけてしまった。その点に関しては私からも謝罪しよう。すまなかった」

この人はエリックさん。名前や言動からして男っぽいけど、とても綺麗で清楚な黒髪サイドポニーだ。これもアニメキャラで例えたらりりカルなのは(sts)黒髪verのなのだ。

この人たち狙ってるのか？と言わんばかりの2人だが驚いたことに

この2人は俺らの世界で言う【天使】だそうだ。

「で、俺はどうなっちゃうんでしょうか？」

「普通なら六道輪廻。どの世界に行くかは分からないが、基本は人間道だ。だが今回は特殊な例だ・・・というか一度も起こった事が無いんだ。」

「えっと・・・人間道じゃないんですか？」

「難しい事なんだ、というか説明がめんどくさい」

「めんどくさいはないですy」あ”あ”！？」「ごめんなさい自分のせいです・・・」

「コントをしている場合じゃなくてですね」

「天道も無理だな、しかし人間道が良いだろうな。」

「出来れば人間に戻りたいですね」

「別世界・・・異次元世界に転生する事ができるが、あまりお勧めはしないな。」

えっと・・・別世界？異次元世界？どういうことですか・・・

「例えば・・・名前は確か棗 悠太だったな。お前が好きだったアニメがあるだろう？その世界に行く事が出来る。」

「マジですか！？実在しないのにその世界に行けるんですか！」

「実在しないと思っただけで存在する世界は無限とある。」

あられもない事を淡々というエリックさんに驚きだが、もっと驚い

たのはアニメの世界に行けるとい話だ。

前の人生？ではにわかオタクとして日常を楽しんでいたんだが、ネタでよく2次元にいきたい！やら　は俺の嫁！とか叫んでた事が今、実現するのだ！これはやりたい放題できるんじゃないか！？ウエヒヒ

こんな事を思っているとディアさんが

「私の責任なので世界軸は私が設定します！」

「素人が世界軸の干渉など・・・いや、どちらにせよ処分がある。ならいつその事有りかもな。だとしたら今までの苦勞が台無しになるが・・・それでも良いのか？」

「それでもやります！自分の失態は自分で拭きます！」

「仕方ないな・・・では、私はこれにて失礼する。何せ私も色々忙しいんだ。悠太よ・・・その世界では何でも出来るわけじゃない。しかし『未来』を変えることは出来る。お前が進む新しい道だ、自分で道を作ること可能だ。とにかく頑張れよ。」かかとを返し俺とは反対方向へ歩いて行った。
しかし、途中で止まり一言だけ言って行った。

「その世界での能力をある程度良い状態にしておいた。成長するかもしれないかはお前の努力次第だ。」

「わかりました！！」

俺はこの時にこの言葉を真に受けてなかったのが最大のミスだった。

「ということでききたい世界を決めて下さい！」

「うむ……なのはも良いんだが fateの世界でも良いな……」

俺はかれこれ30分以上悩み続けていた。

「どうせなら原作ブレイクしたいし……エリックさんが能力くれ
たらしいし……悩むなあ……」

「そんなに重要な事なのですか？ 棗様」

「棗様って……ユウタって呼び捨てで良いよ〜」

「いえいえ！ 自分は棗様に多大なるご迷惑を……」

「その話はもうなしで良いでしょ？ もう終わった事は戻せないんだ。」

「……わかりました。ではユウタさんで」

「さん付けも良いんだがなあ……まあ後々慣れていってよ」

「わかりました！」

さて、どこに行こうか……迷ったな……

もういっその事アリアの世界に……アリアの世界って結構面白そ

プロローグ？（後書き）

どうも、作者の野々宮です。

思いつきで実行してしまい今では反省に至ってます
能力等はまた次回に説明等が入ると思います。

では次回にアリーヴェデルチ！

今更キャラ設定(前書き)

忘れてたので書きます とりあえずこんな感じですけど後々変わるかも知れませんが というか作者が設定を忘れてしまう可能性が高いです

今更キャラ設定

キャラ説明

主人公

名前：棗 悠太

年齢：生前18歳 転生後17歳

性格：アニメ好きのただのエロい奴。基本、どんな環境にも順応できるタイプ（気にしない）

武偵ランク：EorD（ただし本人曰くの設定である）

顔立ち：生前は普通 転生後はかなりカッコよくなってます

髪型：キンジより若干前髪が長い。しかし本人は髪型を気にしていない

身長：174cm

能力：現時点で不明

趣味：アニメ鑑賞・ゲーム・パソコン

ヒロイン(?)

名前：ディア

年齢：天使であるため不明 転生世界では15歳

性格：真面目な性格でありながらも、少しお茶目。

武偵ランク：D o r c

顔立ち：天使時と変わらず、美人である。

髪型：金髪ツインテール(リリカルなのはのフェイト位の長さ)

身長：154cm

能力：現時点で不明

趣味：読書

天使(上級位?)

名前：エリック

年齢：天使であるため不明

性格：大雑把であり、めんどろな事を嫌う

武偵ランク：関係無し

顔立ち：綺麗であるが気にしてない

髪型：黒髪サイドポニー（リリカルなのはs t sのなのは似）

身長：160cm

能力：時空干涉・世界軸干涉 e t c

趣味：睡眠

最初はこんな感じです。

後々にキャラの能力やらが出てきますので、その都度に設定を書いていこうとは思いますが。

今更キャラ設定（後書き）

最近異様に疲れがたまってる野々宮です。

今回はキャラ設定ですが、まだプロローグだけなので全然分かりませんね。

でも後々能力や、性格が出てきますので楽しみにしていただけると嬉しいです。

ということで次回から本編に入っていきます。
では、アリーヴェデルチ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9075x/>

緋弾のアリア カードで世界を救う

2011年10月28日02時07分発行